

## 平成31年第1回定例会(平成31年3月11日)

厚生環境教育委員会委員長 (松川 章三 委員長)

去る3月4日の本会議において、厚生環境教育委員会に付託を受けました『議第1号 平成30年度 別府市一般会計補正予算(第5号)』関係部分ほか12件について、3月5日に委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果について、ご報告いたします。

はじめに、『議第1号 平成30年度 別府市一般会計補正予算(第5号) 関係部分』についてであります。

「環境課」関係では、「別府市リバーサイドオアシス春木苑」において、電力会社に接続する太陽光発電設備の工事費について、固定買取価格が年々低下していること等の理由から、発電した電力を全て施設の機器等の電力として利用することに伴う減額を計上、「保険年金課」関係では、歳入として、国民健康保険 基盤安定負担金、および、後期高齢者医療保険基盤安定負担金などの減額、歳出としては、大分県後期高齢者医療広域連合負担金の減額などを計上、「福祉政策課」関係では、国の交付金が不採択になったことに伴う減額や、社会福祉協議会の職員退職に伴う減額を計上、「ひと・くらし支援課」関係では、生活保護費に係る扶助費の減額をはじめ、平成29年度の精算に伴う返納金などを計上するとの説明がなされました。

委員からは、生活保護の受給世帯数や医療費等について質疑がなされ、当局からは、本年1月末現在で、受給世帯は約3千2百世帯、人数は約3千9百人であり、生活保護に係る医療費は年間約40億円との答弁がなされました。

次に、「障害福祉課」関係では、就労継続支援B型の利用者増加に伴い、自立支援給付に要する経費の追加額を、ならびに、障がい児の通所支援に対する、児童発達支援給付費等の追加額などを計上、「子育て支援課」関係では、「児童手当」や「子ども医療費」等の扶助費の減額をはじめ、保育所の「ICT化推進事業」「事故防止推進事業」に係る補助金の減額などを計上、「高齢者福祉課」関係では、ひとまもり・おでかけ支援事業について、バス回数券の販売冊数の実績数値に伴う減額などを計上、「健康づくり推進課」関係では、予防接種委託料について、日本脳炎ワクチンの接種に関し、初回の接種時期を前倒ししたこと、ならびに、風疹の流行により妊娠を希望する女性及び配偶者の接種が増加したことによる追加額を計上するとの説明がなされました。

委員からは、風疹の予防接種に対し、女性の結婚の有無による区別について質疑がなされ、当局からは、要綱には、妊娠を希望する女性であれば、結婚の有無に関する規程はなく、接種の対象であるとの答弁がなされました。

「教育政策課」関係では、市内の小・中学校の危険ブロック塀の撤去・改修工事について、平成30年第3回及び第4回定例会において、所要の工事費等を計上、ならびに国の臨時特例交付金を財源とするための補正を計上したが、財源の見直しを行った結果、実質的な市の負担が少ない「緊急防災・減災事業債」へ切り替えるための国庫支出金の減額や地方債の増額等を計上するとの説

明がなされました。

委員からは、危険ブロック塀の撤去・改修費用について、当初予定していた、国の交付金について、交付要綱の基準に合致しない理由等について質疑がなされ、

当局からは、対象の全てのブロック塀が危険であることを証明することが困難なことから、交付要綱に合致しなかったこと、また交付要綱では、改修に伴う、樹木等の撤去は対象外であるが、「緊急防災・減災事業債」では、これらが対象であり、交付税措置もあることから、市にとって、より有利になるとの判断から切り替えるとの回答がなされ、これを了としました。

「社会教育課」関係では、旧美術館解体工事の入札結果による歳出の減額に伴い、所要の地方債補正を計上し、また、旧美術館解体工事、及び、実相寺古墳群整備事業に係る繰越明許費補正を計上、「スポーツ健康課」関係では、明豊高校の「第91回選抜高等学校野球大会」出場に伴い、体育振興に要する経費の追加額、ならびに、関連する繰越明許費補正を計上、また、野口原陸上競技場トラック改修事業をはじめとする3事業に対し、スポーツ振興くじ助成金の交付決定を受けたことから、1千8百8万5千円を雑入として計上、その他、関係各課における、全体的な補正内容といたしましては、決算見込みや入札結果による係数整理をはじめとし、国・県などからの補助金等の追加及び返納、財源補正などを行ったとの説明が詳細になされました。

採決におきましては、当局の説明を適切・妥当と認め、全員異議なく、原案のとおり、可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、保険年金課関係の、『議第2号 平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)』、および、『議第6号 平成30年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)』についてであります。

まず、『議第2号』では、歳入の主なものとして、国民健康保険の被保険者数が当初の見込みより減少したことによる、県からの普通交付金の減額などを、歳出では、コンビニ収納の件数増加に伴う手数料の追加額や、被保険者数が当初の見込みより減少したことに伴う、療養給付費等の負担金の減額などを計上、『議第6号』では、歳入として、保険基盤安定繰入金額の確定に伴う減額、歳出では、大分県後期高齢者医療広域連合への負担金を減額する旨の説明がなされました。

委員からは、コンビニ収納の件数が増加した理由について質疑がなされ、当局からは、利便性の向上が大きな要因であるとの回答がなされました。

採決におきましては、『議第2号』および『議第6号』については、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決定いたしました。

次に、高齢者福祉課関係の『議第5号 平成30年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)』では、主に決算見込みに伴う、各介護給付費等の追加額や減額を、また、それに伴う国・県等の負担金の追加額などを計上、さらに、平成30年度に創設された国の交付金を新たに計上する旨の説明がなされました。

採決におきましては、全員異議なく、可決すべきものと決定いたしました。

引き続き、予算外の9議案についてですが、『議第20号 別府市立学校の設

置及び管理に関する条例の一部改正について』は、昭和60年から休校となっている朝日小学校湯山分校を廃止することに伴い、条例を改正するものであるとの説明がなされ、

委員から、湯山分校の跡地の活用方法や閉校式典について質疑がなされ、当局からは、今後地元との協議をはじめ、公共施設マネジメント等の観点を含め、総合的に検討していきたい、また、閉校式典については、時期は未定であるが、実施する予定であるとの回答がなされ、これを了としました。

そのほか、『議第23号 別府市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について』『議第24号 別府市部落差別等をなくし人権を擁護する条例の一部改正について』および、『議第27号』から『議第32号』までの『市有地の貸付け』までの、以上、9議案については、当局の詳細な説明を適切・妥当と認め、いずれも、全員異議なく、可決すべきものと、決定した次第であります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する、審査の概要と、結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。